# 取扱説明書 (一般用)

テクノブロード株式会社

# 取扱説明書 PoEパワースプリッタ (接点出力付)

型式:PoE-ZRS60ATG-W+

### 1. 概説

本装置は PoE(Power Over Ethernet)技術を用いた受電および給電機能に対応したポートを各1ポート装備した 装置です。PoE 受電機能に対応した機器に、LAN ケーブルにより電源を供給することができ、電源コンセントの無 い場所、又は、遠い場所においても、ネットワーク機器を容易に動作させることが可能です。

また、PoE 受電機器以外の電源として出力を行う事が可能であり、さらに接点出力が可能です。新たに、電源設置 工事を必要としないのでコスト削減効果が期待できます。

## 2. 装置の特長

- ・ PoE 給電機器に対応した LAN ポートを1ポート装備します。
- ・ ネットワークカメラ等の PoE 受電機器に対応した LAN ポートを1ポート装備します。
- ・ PoE カメラが既設ハブまたはスイッチングハブ、ルータで利用可能となり、機器購入費の削減となります。
- ・ LAN ケーブルを通じて PoE 非対応のネットワーク機器等に DC 電源にて電力を供給します。
- ・ Windows アプリにより、OFF / ONの接点出力が可能です。
- 対応ネットワーク機器からスイッチングハブまたはルータ間に介在する給電装置と本装置とネットワークカメラ等の受電装置の間のLANケーブルの長さはそれぞれ最大100m、合計200mまで動作対応可能です。(\*LAN ケーブルの種類、動作時の周囲温度により最大距離が少なくなることがあります)

#### 3. 構成

	品名	型番	数量	備考
1	PoEパワースプリッタ	PoE-ZRS60ATG-W+	1	
2	ゴム足	PA40702	4	
3	DIN レールアダプタ	PA40701	1	オプション
4	取付けアングル	PA40696-04	1	オプション
5	取扱説明書	TDM0153	1	

## 4.機能

- ・ 給電ポート:RJ45(10BASE-T/100BASE-TX) 給電アダプタへの接続専用
  \* IEEE802.11at 規格60W 以上の電力供給が必要。UPoE対応の給電装置が必要です。
- カメラポート:RJ45(10BASE-T/100BASE-TX) PoE 受電機器への接続専用
  \* IEEE802.11af/at 規格に準拠。
- 伝送速度:10/100Mbps全/半二重(接続するネットワーク機器に依存する)
- ・ 適合ケーブル:LANケーブル (4対8芯LANケーブル)UTP/STP カテゴリ5相当以上
  \*AWG24 以下のケーブル抵抗値が 100m あたり、10 オーム以下のケーブルを使用する事。
- ・ オートネゴシエーション機能:接続するネットワーク機器に依存する
- ・ 給電機能により、PoEに対応したネットワーク機器と外部電源に合計、最大60Wの電力を供給します。
- ・ Windows アプリによる、接点出力のOFF/ONが可能です。
- ・ LED表示により、給電機器及び、カメラ等の受電機器の接続状況の表示が可能です。

# 5. 装置の性能, 規格

LANポート	RJ45 INPUT(給電側)x1ポート、OUTPUT(カメラ側)x1ポート
外部出力電圧	DC12V
外部出力電力 *1	52W 1分間(52W/0W)10%間欠動作(PoE-ZS60シリーズ接続時又は、
	IEEE802.3at規格,UPoE対応の給電装置(60W以上)を接続時)
カメラ側給電 *2	給電方式:ミッドスパン給電 方式B、UPoE給電
	供給電圧:DC48V~DC58V(接続給電機器による)
	出力電力:最大58W/IEEE802.3af/at(Class0~3)、(PoE-ZS60シリーズ接
	続時又は、IEEE802.3at規格,UPoE対応の給電装置(60W以上)を接続時)
適合LANケーブル	カテゴリ5e/6以上 4対8芯ストレートUTP/STPケーブル AWG24以下
適合規格	PoE規格:IEEE802.3af/IEEE802.3at 受電部Class4、給電部Class0~3
	LAN:IEEE802.3(10BASET)、IEEE802.3u(100BASE-TX) 、uPoE
<b>仁</b> 送 55	本装置の前後、最大100m(給電・受電アダプタの前後に接続されるケーブ
	ル含む)
接点出力	2ポート、半導体リレー、最大DC48V/AC24V、O. 4A(絶縁出力)
保護回路	過電圧·過電流保護回路
適合給電アダプタ *2	PoE-ZSシリーズ、又はIEEE802.3at規格、UPoE対応(60W以上)の給電装置
外形寸法(幅×奥行きX高さ)	78(W)×74(D)×21(H) (mm) 突起除く
重量	150g 暫定
接点コントロールソフト *3	対応OS; Windows7,8,8.1,Windows10

\*1 外部出力電力とカメラ側給電の合計電力は60W以内です。

\*2 適合給電アダプタのPoE-ZSシリーズについては別途カタログを参照してください。

\*3 本機スプリッタと本コントロールソフトをインストールしたパソコンのIPアドレスは同一セグメントである事。

# 6. 外観図



# 7. 接点出力仕様

- 1)接点出力接続
  - ・ 接点出力の接続例 (接点出力1,2共通)



機器背面部、説明図



# 8. ソフトウエア説明

#### 1) ソフトウェアインストール、設定方法

- ・ 付属のソフトウェアをパソコンにインストールし登録する
- PoE パワースプリッタの IP アドレス、基本情報の設定方法 購入直後は、初期 IP アドレスとなっているので、同一セグメントのネットワーク上の初期 IP アドレスを 指定ブラウザ上で入力を行い、初期設定(IP アドレス等)を行う。 複数台の PoE パワースプリッタを登録する場合は、それぞれの機器の初期設定を行い、表示台数の設定 を行うことで、複数台の PoE パワースプリッタの同時管理が可能となる。

#### 2) 動作手順

- ・ 開始 登録したプログラムを開始する
- ・ コントロール画面の接点 1、2 に相当するボタンを押下する事で ON、OFF を繰り返す
- ・ 終了 終了ボタンを押下する事で、プログラムを終了し画面が閉じます。
- ・ 設定 -表示台数の選択、IP アドレス、パスワード、名称、接点名の登録をします。
- ・ 接続状態インジケータ ー本機の接続状態を"接続"または"切断"で表示します。

<接点コントロールソフト>

<接点コントロールソフト>



### 2) 運用画面説明

(1)通常表示





(3)ウォッシャーボタン押下時



(4)ワイパーボタン押下時



#### (5)設定画面

(運用画面にて設定ボタン押下)



## 9. 注意事項

1:PoE パワースプリッタ(ZRS シリーズ)は屋内設置専用です。屋外では使用しないで下さい。

2:ご使用に際しては、給電される機器などとの整合を充分に調査ご検討下さることをお願いいたします。

3:設置に際しては周囲の環境を十分考慮し、使用環境範囲内でのご使用をお願いします。

アダプタが過熱もしくは故障する場合があります。

4: PoE パワースプリッタ(ZRS シリーズ)をネットワーク機器以外の給電に使用しないで下さい。

仕様範囲外での使用はアダプタもしくは接続機器が故障する場合があります。

5:LAN ケーブルの途中に中継コネクタなどは使用しないで下さい。機能を損ねる場合があります。

6:LAN ケーブル仕様は、カテゴリ 5e/6 以上 4対8芯ストレート UTP/STP ケーブルです。

7:LAN ケーブルの総長は入力側、出力側ともに 100m 以内でご使用下さい。(給電・PoE パワースプリッタの前後に接続されるケーブルを含む)機能を損ねる場合があります。

8:本装置を使用して、LAN ケーブルを介して接続したネットワーク機器を破損するなどの悪影響を与えることはありませんが、性能を保証するものではありません。

\*規定の使用以外でのご使用により機器などの故障が生じた場合は弊社では責任を負いかねますのでご了承願 います。

> テクノブロード株式会社 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6-10 丸森ビル TEL:03-5651-1777 FAX:03-5651-1808 URL:http://www.t-broad.com E-mail:info@t-broad.com

> > 型式: PoE-ZRS60ATG-W+ 2020年10月02日 第 1.1版

# PoE接点コントロールソフト

# インストールマニュアル

#### 型式:PoE-ZRS60ATG-W 2018年10月11日 第 1. 0版

テクノブロード株式会社 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6-10 丸森ビル TEL:03-5651-1777 FAX:03-5651-1808 URL:http://www.t-broad.com E-mail :info@t-broad.com

# システム要件

## ハードウェア

プロセッサ	1.0GHz 以上
RAM	1GB
	10MB
ディスク容量	ただし、.NET Framework をインストール時は4.5GB必要

プラットホーム

OS 最新の更新プログラムとサービス パックを適用した 32 ビット または 64 ビットの Windows 7 SP1、Windows 8.1、または 必須コンポーネント Microsoft .NET Framework 4.5.2以上が必要

※Windows8以降は、.NET Framework はOSにプレインストール済みです。 ※Windows7で.NET Framework が使用できない場合、Microsoftのサーバから インストールされます。 PoE接点制御ソフト インストール 1. Setup.exeの実行

PoE接点制御	
PoE接点制御 セットアップ ウィザードへようこそ	
インストーラーは PoE接点制御 をインストールするために必要な手順を示	します。
この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵 注意ください。	。この製品の全部 害となりますのでご
キャンセル < 戻る(B)	次へ(N) >

次へをクリック

· PoE接点制御	
インストール フォルダーの選択	
インストーラーは次のフォルダーへ PoE接点制御 をインストールします。	,
このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別の トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	のフォルダーにインス
フォルダー( <u>F</u> ):	
C:¥Program Files¥PoE接点制御¥	参照( <u>R</u> )
	ディスク領域( <u>D</u> )
PoE接点制御を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインスト	ールします:
○ すべてのユーザー( <u>E</u> )	
◎ このユーザーのみ(M)	
キャンセル く戻る(B)	次へ(N)>

インストール先フォルダ、使用ユーザーを選択して、次へをクリック

· PoE接点制御	
インストールの確認	
PoE接点制御 をインストールする準備ができました。 [次へ]をクリックしてインストールを開始してください。	



次へをクリック

。 PoE接点制御	
PoE接点制御 をインストールしています	
PoE接点制御 をインストールしています。	
お待ちください…	
<b>キャンセル</b> < 戻る(B)	) (次へ(N) > )

セキュリティの確認画面 → はいをクリック

PoE接点制御		X
インストールが完了しました。		
PoE接点制御 は正しくインストールされました。		
終了するには、[閉じる]をクリックしてください。		
Windows Update で、NET Framework の重要な更新があるかどうかを確認し	てください。	,
キャンセル く戻る(B)	閉じる	)(C)

閉じるをクリック

2. プログラムの起動

デスクトップ作成されたPoE\_Controlのショートカットをダブルクリック

スタート→すべてのプログラム→PoE-ZRS60→PoE\_Controlを選択

/Ø Poe C		×
PoE接点口	ントロ	ール
設定	終	7



[PoE-Web工場出荷時設定]

ホスト名	POE-WEB
IPアドレス	192.168.0.101
パスワード	password
DHCP	無効

【接点信号出力付スプリッタ(PoE-ZRS60ATG-W+)のワイパー制御 CGI について】 2021 年 10 月 7 日

テクノブロード株式会社

#### ◆ワイパー制御 CGI について

1) 初期設定

(IPアドレス、パスワード等)についてはブラウザから初期設定が必要です。

- 2) 初期設定後の制御 CGI として以下の制御(指示)が可能となります。
  - 1) 接点状況の状態表示用コマンド要求 CGI
  - 2) 接点出力の制御コマンド CGI (トグル接点)
  - 3) 接点出力を ON にし、指定時間後に OFF にする CGI
  - 4) 接点出力を ON にする。OFF にするコマンドが来るまで継続する CGI
  - 5) 接点出力を OFF にする CGI
- 3) 使用方法

2)の接点出力の制御コマンドは、トグル接点であり1回の制御送信ごとにON/OFF が切り替わるため1)の状態表示用コマンド要求にて接点状態を確認後、送信する 必要があります。

#### ♦CGI の処理概要図

CGI 処理の流れは次のようになります



\*\*\*\*\* コマンド一覧 \*\*\*\*\*

**1)**接点状況の状態表示用コマンド要求 CGI 「<u>http://192.168.10.202/status,xml</u>」

> 以下の情報が取得できます <response> <led1>0<led1> <temp0> • 273</temp0> <out1>1</out1> <out2>1</out2> <out3>0</out3> <out4>0</out4> <out5>0</out5> <in1>1</in1> <in2>1</in2> <in3>1</in3> <in4>1</in4> <AnDcA>0</AnDcA> <AnDcA>642</AnDcA> </response> **※out1、out2** が接点 1、接点 2 に対応しています

2) 接点出力の制御コマンド **CGI**(トグル接点)

「<u>http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinout.cgi?out=1</u>」 \*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 接点 1:out=1 接点 2:out=2

# 3)接点出力を ON にし、指定時間後に OFF にする CGI ◆接点 ON 後1秒後に OFF の場合

[http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinonoff.cgi?out1=on&time=1000]

\*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 time はミリ秒単位で 1~105,000,000(約 29 時間)まで設定可能。 Time の誤差が 2~3 ミリ秒程あるため、1 ミリ秒指定時は 4 ミリ秒後に OFF となる。 接点 1: out1 接点 2: out2

#### 4) 接点出力を ON にする。OFF にするコマンドが来るまで継続する CGI

「<u>http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinonoff.cgi?out1=on&time=inf</u>」 \*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 time は以下のいずれかで無限 ON となる。 ・time=inf ・time=0 ・&time=xxx を削除 接点 1: out1 接点 2: out2

5) 接点出力を OFF にする CGI

「<u>http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinonoff.cgi?out1=off</u>」 \*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 time 指定は不可。 接点 1:out1 接点 2:out2

※本スプリッタは Basic 認証にて ID・パスワードのチェックを行っています。

# 取扱説明書(自動化用)

テクノブロード株式会社

# 取扱説明書 PoEパワースプリッタ (接点出力付)

型式:PoE-ZRS60ATG-W+

## 1. 概説

本装置は PoE(Power Over Ethernet)技術を用いた受電および給電機能に対応したポートを各1ポート装備した 装置です。PoE 受電機能に対応した機器に、LAN ケーブルにより電源を供給することができ、電源コンセントの無 い場所、又は、遠い場所においても、ネットワーク機器を容易に動作させることが可能です。

また、PoE 受電機器以外の電源として出力を行う事が可能であり、さらに接点出力が可能です。新たに、電源設置 工事を必要としないのでコスト削減効果が期待できます。

## 2. 装置の特長

- ・ PoE 給電機器に対応した LAN ポートを1ポート装備します。
- ・ ネットワークカメラ等の PoE 受電機器に対応した LAN ポートを1ポート装備します。
- ・ PoE カメラが既設ハブまたはスイッチングハブ、ルータで利用可能となり、機器購入費の削減となります。
- ・ LAN ケーブルを通じて PoE 非対応のネットワーク機器等に DC 電源にて電力を供給します。
- Windows アプリにより、OFF / ONの接点出力が可能です。
- 対応ネットワーク機器からスイッチングハブまたはルータ間に介在する給電装置と本装置とネットワークカメラ等の受電装置の間のLANケーブルの長さはそれぞれ最大100m、合計200mまで動作対応可能です。(\*LANケーブルの種類、動作時の周囲温度により最大距離が少なくなることがあります)

#### 3. 構成

	品名	型番	数量	備考
1	PoEパワースプリッタ	PoE-ZRS60ATG-W+	1	
2	ゴム足	PA40702	4	
3	DIN レールアダプタ	PA40701	1	オプション
4	取付けアングル	PA40696-04	1	オプション
5	取扱説明書	TDM0153	1	

## 4.機能

- ・ 給電ポート:RJ45(10BASE-T/100BASE-TX) 給電アダプタへの接続専用
  \* IEEE802.11at 規格60W 以上の電力供給が必要。UPoE対応の給電装置が必要です。
- カメラポート:RJ45(10BASE-T/100BASE-TX) PoE 受電機器への接続専用
  \* IEEE802.11af/at 規格に準拠。
- 伝送速度:10/100Mbps全/半二重(接続するネットワーク機器に依存する)
- 適合ケーブル:LANケーブル (4対8芯LANケーブル)UTP/STP カテゴリ5相当以上
  \*AWG24 以下のケーブル抵抗値が 100m あたり、10 オーム以下のケーブルを使用する事。
- ・ オートネゴシエーション機能:接続するネットワーク機器に依存する
- ・ 給電機能により、PoEに対応したネットワーク機器と外部電源に合計、最大60Wの電力を供給します。
- ・ Windows アプリによる、接点出力のOFF/ONが可能です。
- ・ LED表示により、給電機器及び、カメラ等の受電機器の接続状況の表示が可能です。

# 5. 装置の性能, 規格

LANポート	RJ45 INPUT(給電側)x1ポート、OUTPUT(カメラ側)x1ポート
外部出力電圧	DC12V
外部出力電力 *1	52W 1分間(52W/0W)10%間欠動作(PoE-ZS60シリーズ接続時又は、
	IEEE802.3at規格,UPoE対応の給電装置(60W以上)を接続時)
カメラ側給電 *2	給電方式:ミッドスパン給電 方式B、UPoE給電
	供給電圧:DC48V~DC58V(接続給電機器による)
	出力電力:最大58W/IEEE802.3af/at(Class0~3)、(PoE-ZS60シリーズ接
	続時又は、IEEE802.3at規格,UPoE対応の給電装置(60W以上)を接続時)
適合LANケーブル	カテゴリ5e/6以上 4対8芯ストレートUTP/STPケーブル AWG24以下
適合規格	PoE規格:IEEE802.3af/IEEE802.3at 受電部Class4、給電部Class0~3
	LAN:IEEE802.3(10BASET)、IEEE802.3u(100BASE-TX) 、uPoE
<b>仁</b> 送55	本装置の前後、最大100m(給電・受電アダプタの前後に接続されるケーブ
	ル含む)
接点出力	2ポート、半導体リレー、最大DC48V/AC24V、O. 4A(絶縁出力)
保護回路	過電圧·過電流保護回路
適合給電アダプタ *2	PoE-ZSシリーズ、又はIEEE802.3at規格、UPoE対応(60W以上)の給電装置
外形寸法(幅×奥行きX高さ)	78(W)×74(D)×21(H) (mm) 突起除く
重量	150g 暫定
接点コントロールソフト *3	対応OS; Windows7,8,8.1,Windows10

\*1 外部出力電力とカメラ側給電の合計電力は60W以内です。

\*2 適合給電アダプタのPoE-ZSシリーズについては別途カタログを参照してください。

\*3 本機スプリッタと本コントロールソフトをインストールしたパソコンのIPアドレスは同一セグメントである事。

# 6. 外観図



## 7. 接点出力仕様

- 1)接点出力接続
  - ・ 接点出力の接続例 (接点出力1,2共通)



機器背面部、説明図



# 8. ソフトウエア説明

別紙 PoE

ZRS60ATG-W+ Windowsソフト説明書をご覧ください。

# 9. 注意事項

1:PoE パワースプリッタ(ZRS シリーズ)は屋内設置専用です。屋外では使用しないで下さい。

- 2:ご使用に際しては、給電される機器などとの整合を充分に調査ご検討下さることをお願いいたします。
- 3:設置に際しては周囲の環境を十分考慮し、使用環境範囲内でのご使用をお願いします。

アダプタが過熱もしくは故障する場合があります。

4:PoE パワースプリッタ(ZRS シリーズ)をネットワーク機器以外の給電に使用しないで下さい。

仕様範囲外での使用はアダプタもしくは接続機器が故障する場合があります。

5:LAN ケーブルの途中に中継コネクタなどは使用しないで下さい。機能を損ねる場合があります。

6:LAN ケーブル仕様は、カテゴリ 5e/6 以上 4 対8芯ストレート UTP/STP ケーブルです。

7:LAN ケーブルの総長は入力側、出力側ともに 100m 以内でご使用下さい。(給電・PoE パワースプリッタの前後に接続されるケーブルを含む)機能を損ねる場合があります。

8:本装置を使用して、LAN ケーブルを介して接続したネットワーク機器を破損するなどの悪影響を与えることはありませんが、性能を保証するものではありません。

\*規定の使用以外でのご使用により機器などの故障が生じた場合は弊社では責任を負いかねますのでご了承願 います。

> テクノブロード株式会社 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6-10 丸森ビル TEL:03-5651-1777 FAX:03-5651-1808 URL:http://www.t-broad.com E-mail:info@t-broad.com

> > 型式:PoE-ZRS60ATG-W+ 2020年10月20日 第 1. 2版

# PoE接点コントロールソフト

# インストールマニュアル

### 型式:PoE-ZRS60ATG-W 2020年10月15日 第 1. 2版

テクノブロード株式会社 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6-10 丸森ビル TEL:03-5651-1777 FAX:03-5651-1808 URL:http://www.t-broad.com E-mail :info@t-broad.com

# システム要件

## ハードウェア

1.0GHz 以上
1GB
10MB
ただし、.NET Framework をインストール時は4.5GB必要

プラットホーム

OS 最新の更新プログラムとサービス パックを適用した 32 ビット または 64 ビットのWindows 8.1、または Windows 10 必須コンポーネント Microsoft .NET Framework 4.5.2以上が必要

※Windows8.1以降は、.NET Framework はOSにプレインストール済みです。

# PoE接点制御ソフト インストール 1. Setup.exeの実行

1		Setup.exeの実行
-	-	

妃 PoE接点制御			_		×
PoE接点制御 セットアップ	ウィザードへ	ようこそ			
インストーラーは PoE接点制御 をイン	ストールするため	に必要な手順を	示します	す。	
この製品は、著作権に関する法律およ または一部を無断で複製したり、無断 注意ください。	び国際条約によ で複製物を頒布す	l保護されていま ると、著作権のf	す。こ( 夏害とな	D製品の 刈ます(	r全部 のでご
	< 戻る(B)	次へ(N) >	•	キャン	セル

次へをクリ	トック
-------	-----

PoE接点制御	_		×
インストール フォルダーの選択			5
インストーラーは次のフォルダーへ PoE接点制御 をインストールします。			
このフォルダーにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別ル トールするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	カフォ	ルダー	こインス
フォルダー( <u>E</u> ):			
C:¥PoE接点制御¥		参照()	R)
	デ	ィスク領	域(D)
PoE接点制御 を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインスト	-ມປ	ます:	
○すべてのユーザー(E)			
◉このユーザーのみ(M)			
< 戻る(B) 次へ(N) >		++)	ンセル

# インストール先フォルダ、使用ユーザーを選択して、次へをクリック

₩ PoE接点制御	_	×
インストールの確認		
PoE接点制御 をインストールする準備ができました。		
[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。		



次へをクリック

PoE接点制御	
PoE接点制御 をインストールしています	
PoE接点制御 をインストールしています。	
お待ちください…	
キャンセル < 戻る(B)	) (Xへ(N) >

セキュリティの確認画面 → はいをクリック

		×
インストールが完了しました。		
PoE接点制御 は正しくインストールされました。		
終了するには、「閉じる」をクリックしてください。		
Windows Update で、NET Framework の重要な更新があるかどうかを確認して	ください	۱.
< 戻る(B) 閉じる(C)	++)	ノセル

## 閉じるをクリック

## 2. プログラムの起動

デスクトップ作成されたPoE\_Controlのショートカットをダブルクリック

スタート→すべてのプログラム→PoE-ZRS60→PoE\_Controlを選択

📃 PoE Con	- 🗆	$\times$
ワイパーコント	-□−ル ∨∈	r 2.1.0.0
Copyright © TEC	HNO BROAI	D INC.



[PoE-Web工場出荷時設定]

ホスト名	POE-WEB
IPアドレス	192.168.0.101
パスワード	password
DHCP	無効

# PoE-ZRS60ATG Windows ソフト説明書

1. 起動

デスクトップにある PoE\_Control のショートカットをダブルクリックすると、 メイン画面が表示されます。



#### 2. メイン画面説明



① 設定ボタンを押下

設定変更画面を表示します。

- ② (ア)メインスイッチボタンを押下
  連動して雨センサーが点灯し、定期クリーニングとオートワイパーを操作可能にします。
  - (イ)メインスイッチボタンを押下
    連動して雨センサーが消灯し、定期クリーニングとオートワイパーを操作不可(無効)にします。

©2020 TECHNO BROAD INC, 20201025

③ 雨センサー

<mark>メインスイッチ</mark> をONにした場合、点灯	雨センサー 🔵	します。
メインスイッチをOFFにした場合、消灯	雨センサー 🔘	します。

- ④ (ア) 定期クリーニングボタンを押下
  設定画面で定期クリーニングを有効にしているデバイスに対し、ウォッシャーを一斉に
  1 回起動し、定期クリーニングを開始します。
  - (イ) 定期クリーニングボタンを押下
    定期クリーニングを停止します。
- ⑤ (ア) オートワイパーボタンを押下
  設定画面でオートワイパーを有効にしているデバイスに対し、ワイパーを一斉に
  1 セット 5 回起動し、オートワイパーを開始します。
  - (イ) オートワイパーボタンを押下 オートワイパーを停止します。
- ⑥ 接続状態

(ア) デバイスとの接続状態が接続されている場合、薄い緑背景で 接続 となります

- (イ) デバイスとの接続状態が切断されている場合、赤の背景で 切断 となります。
- ⑦ 雨センサー
  - (ア) メインスイッチとデバイスのオートワイパーが有効で雨センサーが有り、雨を検知している場合、水色背景で雨となり、ワイパー自動処理が開始されます。
  - (イ) デバイスに雨センサーが有、雨を検知していない場合、
  - グレーの背景で 雨 となります。
- ⑧ デバイス毎のウォッシャーボタンを押下

ウォッシャーを一回起動します。



⑩ デバイス毎のワイパーボタンを押下

ワイパーを1セット5回起動します。



① ワイパーの自動状態

(ア)接続中でオートワイパーを有効にしているデバイスに対し、薄い緑色で

#### 3. 設定変更画面説明

設定変更						
	1	変更	2 \$	キャンセル		^
		表示台数	31	•		
接点出	лон Тон	:ウオッシャ、	接点出	出力CH2:ワイパ	_	
接点人) 接点人)	лсн: ЛСН4	3:外部降雨も 4:ドーム内部	2ンサー 降雨セ	シサー		
┌テパイス1	I					
IPアドL	ス		4	192.168.10.202		
パスワ-	-ド		5	password		
名称			6	カメラ 01		
接点1			7	ウォッシャー		
接点2			8	ワイパー		
定期ク	リーニ	ング	9	有効		
クリー	ニング	実施間隔(E	I) 🕕	1	<b>_</b>	
前回	実施	3	10	2020/01/01	<u> </u>	
クリー	ニング	開始時刻	12	00:00	<u>•</u>	
連続	クリー	こング回数	13	1	-	
連続	クリー	コング間隔(分	) 🚺	1	•	
オートワ	パパー	-	16	有効		
降雨	センサ	一有/無 🕼	СНЗ	C CH4 💿	無効	
ワイ/	℃起	動サイクル(分	) 🕧	1	-	
クリー	ニング	時のワイパー	回数 <mark>18</mark>	1	•	
最大	継続日	時間(時間)	(19	1	-	
	内部	『降雨センサー	感度20	-20	•	
			,			~

## ① 変更ボタンを押下

変更内容を保存後、メイン画面を表示します。

② キャンセルボタンを押下

変更内容を破棄し、メイン画面を表示します。

③ 表示台数

メイン画面に表示するデバイスの数を設定します。

1 台から最大 16 台まで表示可能です。

#### ④ IPアドレス

あらかじめ登録された IP アドレスを入力します。

⑤ パスワード

あらかじめ登録されたパスワードを入力します。

⑥ 名称

メイン画面に表示する機器名称を入力します。

⑦ 接点1

メイン画面に表示する接点1のボタン名称を入力します。

⑧ 接点 2

メイン画面に表示する接点2のボタン名称を入力します。

- ⑨ 定期クリーニングボタンを押下
  - (ア)定期クリーニングの有効ボタンを押下 定期クリーニングを有効にします。

(イ) 定期クリーニングの有効ボタンを押下
 定期クリーニングを無効にします。



- ① クリーニング実施間隔(日)
  定期クリーニングの実施間隔を設定します。
  1 日から 60 日まで選択可能です。
- ① 前回実施日

定期クリーニングが実施されると自動的に更新されます。

12 クリーニング開始時刻

定期クリーニングの開始時刻を設定します。

⑬ 連続クリーニング回数

定期クリーニング時に連続したクリーニング回数を設定します。 1回から3回まで選択可能です。

④ 連続クリーニング間隔(分)
 ③の連続クリーニング回数で2回以上を選択した場合に実施される

2回目以降の実施間隔です。

1分から15分まで選択可能です。

- 15 オートワイパー
- (ア)オートワイパーの有効ボタンを押下 オートワイパーを有効にします。
   有効 有効
   (イ)オートワイパーの有効ボタンを押下 オートワイパーを無効にします。
   有効 有効
   (ア) CH3ラジオボタンを押下 CH3検知を有効にします。
   隆雨センサー有/無
   (ア) CH3ラジオボタンを押下
   CH3 検知を有効にします。
- (イ) CH4 ラジオボタンを押下
  CH4 検知を有効にします。
  降雨センサー有/無 CH3 CH4 無効
  - (ウ) 無効ラジオボタンを押下 降雨センサーを無効にします。

降雨センサー有/無 ○ CH3 ○ CH4 ● 無効

- ワイパー起動サイクル(分)
  オートワイパーの起動サイクルを選択します。
  1 分から 60 分まで選択可能です。
- 10のワイパー回数
  10のワイパー起動サイクル(分)で選択したサイクル毎にワイパーを動かす回数を選択します。
  1回、3回、5回から選択します。(1回は、1セット5回ワイパーが動きます。)
- ① 最大継続時間(時間)
  オートワイパーの最大継続時間を選択します。
  1 時間から24 時間まで選択可能です。
- 20 ドーム内部降雨センサー感度

CH4 のしきい値をリストから選択します。 直接、しきい値を入力することも可能です。

## 4. ボード設定

コントロールボードのネットワーク設定を、ブラウザより登録することができます。

PoE I/O P		+		x
(←) → C'	Q 192.168.1.2/protect/config.htm		>>	≡
				•
		Enable DHCP		
	IP Address:	192.168.1.2		
	Gateway:	192.168.1.1		
	Subnet Mask:	255.255.255.0		
	Primary DNS:	192.168.1.1		
	Secondary DNS:	0.0.0.0		
	NewPassword:			Ξ
	(Re)Password:			
		Save Config		
L.				
•				+
		設定された内容を保存する		

【接点信号出力付スプリッタ(PoE-ZRS60ATG-W+)のワイパー制御 CGI について】 2021 年 10 月 7 日

テクノブロード株式会社

#### ◆ワイパー制御 CGI について

1) 初期設定

(IPアドレス、パスワード等)についてはブラウザから初期設定が必要です。

- 2) 初期設定後の制御 CGI として以下の制御(指示)が可能となります。
  - 1) 接点状況の状態表示用コマンド要求 CGI
  - 2) 接点出力の制御コマンド CGI (トグル接点)
  - 3) 接点出力を ON にし、指定時間後に OFF にする CGI
  - 4) 接点出力を ON にする。OFF にするコマンドが来るまで継続する CGI
  - 5) 接点出力を OFF にする CGI
- 3) 使用方法

2)の接点出力の制御コマンドは、トグル接点であり1回の制御送信ごとにON/OFF が切り替わるため1)の状態表示用コマンド要求にて接点状態を確認後、送信する 必要があります。

#### ♦CGI の処理概要図

CGI 処理の流れは次のようになります



\*\*\*\*\* コマンド一覧 \*\*\*\*\*

**1)**接点状況の状態表示用コマンド要求 CGI 「<u>http://192.168.10.202/status,xml</u>」

> 以下の情報が取得できます <response> <led1>0<led1> <temp0> • 273</temp0> <out1>1</out1> <out2>1</out2> <out3>0</out3> <out4>0</out4> <out5>0</out5> <in1>1</in1> <in2>1</in2> <in3>1</in3> <in4>1</in4> <AnDcA>0</AnDcA> <AnDcA>642</AnDcA> </response> **※out1、out2** が接点 1、接点 2 に対応しています

2) 接点出力の制御コマンド **CGI**(トグル接点)

「<u>http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinout.cgi?out=1</u>」 \*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 接点 1:out=1 接点 2:out=2

# 3)接点出力を ON にし、指定時間後に OFF にする CGI ◆接点 ON 後1秒後に OFF の場合

[http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinonoff.cgi?out1=on&time=1000]

\*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 time はミリ秒単位で 1~105,000,000(約 29 時間)まで設定可能。 Time の誤差が 2~3 ミリ秒程あるため、1 ミリ秒指定時は 4 ミリ秒後に OFF となる。 接点 1: out1 接点 2: out2

#### 4) 接点出力を ON にする。OFF にするコマンドが来るまで継続する CGI

「<u>http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinonoff.cgi?out1=on&time=inf</u>」 \*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 time は以下のいずれかで無限 ON となる。 ・time=inf ・time=0 ・&time=xxx を削除 接点 1: out1 接点 2: out2

5) 接点出力を OFF にする CGI

「<u>http://admin:password@192.168.10.202/protect/pinonoff.cgi?out1=off</u>」 \*ID が【admin】、「パスワードが【password】の場合 time 指定は不可。 接点 1:out1 接点 2:out2

※本スプリッタは Basic 認証にて ID・パスワードのチェックを行っています。